

# 謹賀

平成 25 年初春



# 新年

旧年中は、市政各般にわたり、  
格別のご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。



小林市長  
肥後正弘

**新**年明けましておめでとうございます。皆様方には明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、第10回全国和牛能力共進会において、小林市から10頭の代表牛が出品され、内閣総理大臣賞を受賞するなど、宮崎牛の連続日本一に大きく貢献しました。畜産のまち小林市を大きくアピールするとともに、私たちに元気と感動を与えてくれました。今後は、これを生かして、関係機関と協力しながら、地域経済の活性化のための取り組みを進めてまいります。

さて、市では、市民の皆様と協働によるまちづくりを進めてまいります。30年後には、市の人口が1万5千人も減少するという推計があります

が、人口を維持し市を発展させるためには、まちづくりの主役である市民の皆様一人一人の知恵と力の結集が必要です。そこで、「協働により九州一安心安全なまち」を目指すことから始めようとして取り組んでいるところです。

昨年は、西小林中校区を皮切りに、須木地区と野尻地区でさまざまな協働体の設立に向けて地域支援員の皆様と地域担当職員が連携した取り組みを実施していただきました。西小林中校区では、「にっこば防災まつり」などが実施され、地域の力強さを感じたところでした。また、防災メール登録推進や、防災リーダーの養成など、安心安全なまちづくりが着々と進んでいることを実感しております。災害拠点ともなる新庁舎の建設は、皆さんのご意見とご協力をいただきながら、基本計画の策定に取り組んでおります。

地域医療の充実には、西諸医師会の多大なご協力をいただきながら、市立病院の坪内齊志病院長とともに力を尽くしているところです。また、

## 協働により「九州一安心安全なまち」を目指して

医師不足と同時に深刻な課題が看護師不足です。これに対応すべく、昨年、西諸医師会の呼びかけで西諸看護学校誘致促進協議会が発足しました。この誘致は、看護師確保をはじめ、幅広い面で多大な効果が期待されます。何としても実現できるよう、西諸の自治体や関係機関と協力して取り組んでまいります。

地域医療を守るためには、地域一体となった取り組みが必要です。皆様のご協力をお願いいたします。

「九州一安心安全なまち」の実現には、防災、医療、食や自然環境など、私たちの生活に不可欠なあらゆる分野での取り組みが必要です。そして、これを達成すべく継続した取り組みを進めていけば、自ずと小林市の魅力が輝いていくと信じております。そのためにも、この目標達成へ向けて、市民の皆様温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年も皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げます。

